

ダム工学の 情報交流の場

ダム工学会

ダムの歴史は、紀元前エジプト王朝の時代が始まりとされています。

我が国で、ため池がつくられたのは、弥生時代末期とされており、その後、大和時代に入り貯水池が西日本において盛んに作られました。

以来、ダムは、治水、利水を目的として築造され、新たな水辺環境を創出してきました。

ダム工学は、ダムに関係する各学問分野で形成される総合工学です。

ダム工学は、時代とともに進歩・発展してきましたが、さらに合理的な計画、設計、施工、管理、環境問題など 新たな課題に直面しています。

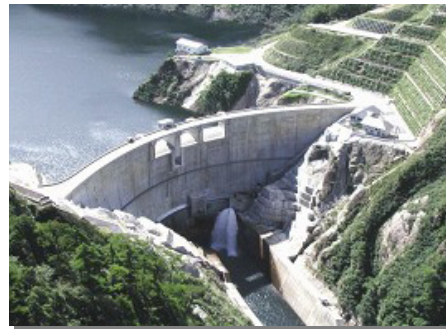
ダム工学会は、このような諸課題に対処するため、関係する各学問分野の学者、研究者、技術者が広く参加・協力し、ダム工学研究に先導的な役割を果たすとともに、研究成果の社会への還元を目指します。



苦田ダム（国土交通省中国地方整備局）



栲谷ダム（農林水産省北陸農政局）



奥三面ダム（新潟県）



通常総会



特別講演会



講習会



現地見学会



地域活動

ダム工学会のあらまし

1. 目的

本学会は次のような目的をもっています。

- ・会員相互の交流と協力
- ・国内、国外の関連学協会および研究機構等との連携
- ・ダム工学研究の向上と発展
- ・研究成果の社会への還元

2. 事業

本学会は次のような事業を行っています。

- ・学術講演会、シンポジウム、現地見学会などの実施
- ・機関誌「ダム工学」の発行
- ・ダム工学に関連する国内外の研究活動、会議等に関する情報の収集と伝達
- ・特定研究テーマに関する研究部会活動（いくつかの研究部会を設け、横断的研究ならびに学、官、民の交流を推進する）

3. 沿革

- 平成2年9月14日 ダム工学研究会として発足
- 平成5年9月10日 日本学術会議法に基づく学術研究団体として認可
- 平成6年5月10日 第4回通常総会において名称を「ダム工学会」に改称
- 平成21年11月5日 「一般社団法人ダム工学会」登記完了

4. 会員

本学会は次のような会員で構成されています。

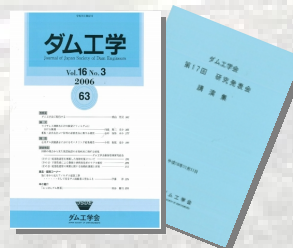
- ・正会員：本会の目的に賛同する個人
- ・シニア会員：本会の目的に賛同する60歳以上の個人
- ・学生会員：本会の目的に賛同する学生
- ・賛助会員：本会の目的事業を賛助する個人ならびに法人、またはその他の団体

5. 会費

- ・入会金：なし
- ・正会員：年額 6,000円
- ・シニア会員：60歳以上～65歳未満 10年間分前納 40,000円
65歳以上 10年間分前納 30,000円
- ・学生会員：年額 2,000円
- ・賛助会員：年額1口 50,000円（1口以上）

6. 入会手続き

裏面記載のダム工学会ホームページ又は機関誌「ダム工学」に掲載の入会申込書にてお申し込み下さい。
賛助会員につきましては、裏面記載の事務局までお問い合わせ下さい。



会員特典

- ・会誌「ダム工学」をお届けします。
- ・「メルマガ通信」を配信します。
- ・会誌「ダム工学」での論文や研究成果、ダム工学会主催の研究発表会などで発表する機会をたくさんご用意しております。
- ・様々な行事にお得な会員価格でご参加いただけます。

また、CPD認定プログラムである講習会等の参加により、継続教育が受けることができます。

研究発表会—各界の会員が自身の研究成果を発表する場です。

技術開発賞公開審査会—本会で公募された技術案件を発表する場です。

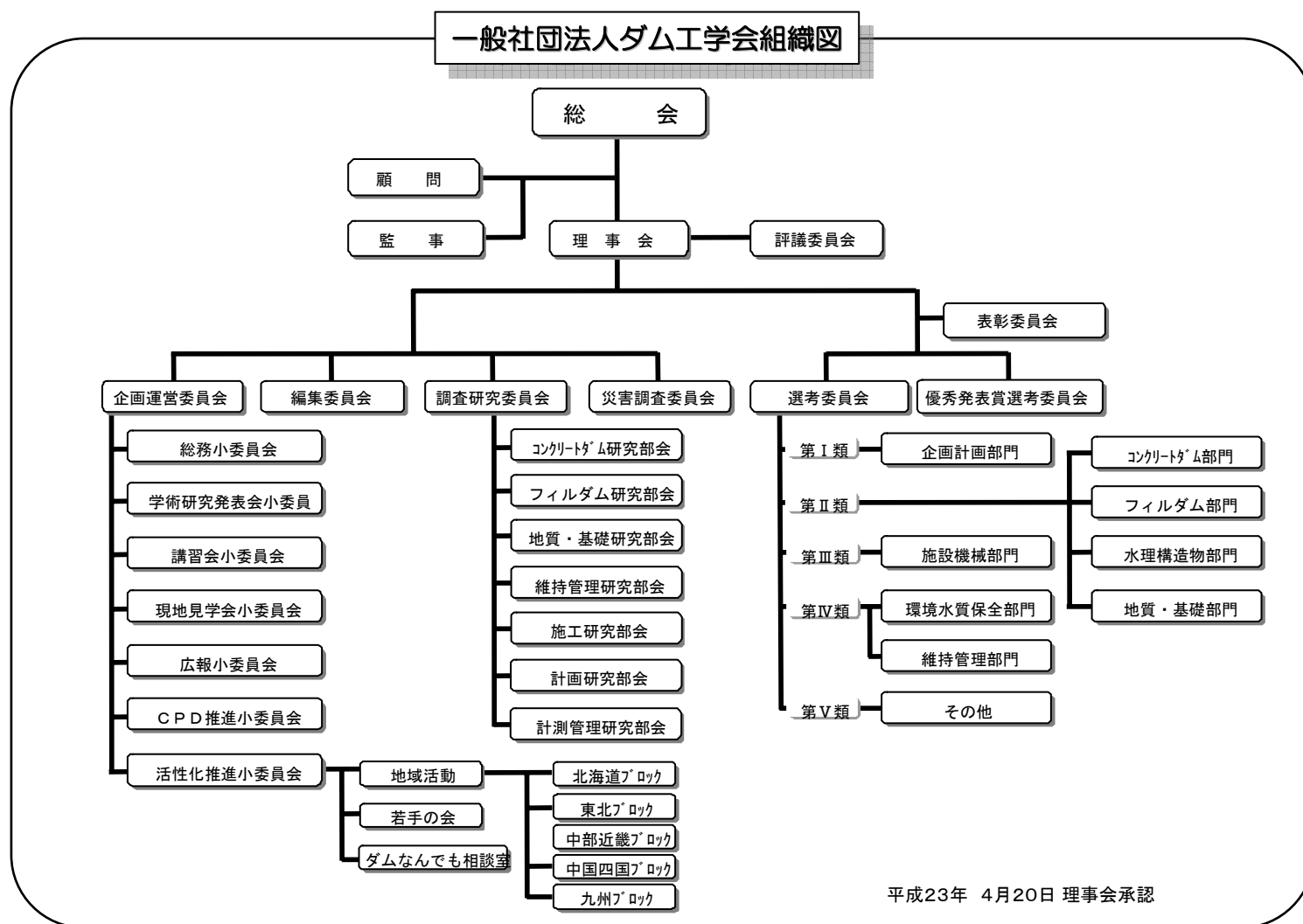
特別講演会—国内のダム技術の専門家等の最新の講演を行います。

現地見学会—施工中や管理中のダムで現場視察や技術討議等を行います。

講習会—各界の最先端技術を持った方が技術者・研究者を対象に講習テーマをモチーフに皆さんとの意見の交流を交わす場です。

地域活動—全国各地域ごとに、現地のダムにおいて現場視察や講演会等を行います。

- ・学生会員の方には、卒業論文や研究テーマの資料としてご利用いただけます。



一般社団法人ダム工学会
JAPAN SOCIETY OF DAM ENGINEERS

お問い合わせは下記まで

〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7
池之端日殖ビル 2F
財団法人ダム技術センター内



一般社団法人ダム工学会 事務局

TEL : 03-5815-4161 FAX : 03-5815-4162

E-Mail : dam_eng@jdec.or.jp

URL : <http://www.jsde.jp/>

